

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

医療法人玉昌会（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB -
安定的

格付事由

- (1) 鹿児島県鹿児島市で高田病院（地域包括ケア 14 床、回復期リハ 30 床、医療療養 135 床）、始良市で加治木温泉病院（地域包括ケア 60 床、回復期リハ 54 床、医療療養 179 床、介護療養 57 床）などを展開する医療法人。回復期、慢性期医療を主とする医療機関としては県内最大級の病床を有する。高田病院は、16 年に鹿児島市内中心部にある交通局跡地への新築移転計画を公表し、20 年の開業を予定している。加治木温泉病院は地域リハビリテーション広域支援センターに指定されており、地域の回復期、慢性期医療の中核を担っている。両病院ともに回復期リハビリテーション病棟での人工透析などに強みを持つ。
- (2) 社会保障費の抑制圧力が強まる中、医療機関の事業環境は厳しさを増しつつある。ただ、高田病院では長年安定した集患力を維持しており、加治木温泉病院でも医師の増加や地域連携の推進により病床利用率が上昇している。医療制度改革の影響には注意を要するが、当面、安定した収益を確保できるとみている。一方、高田病院の新築移転に伴う資金調達により、財務構成は段階的に悪化する見通しである。ただ、新病院の機能や事業費に関する未確定の事項は残っているが、集患に大きな懸念はないとみられ、余裕度は小さくとも安定した債務償還が可能と現時点では判断している。以上を踏まえ格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 薬剤師や看護師、介護職員などの必要数は充足しているものの、採用体制の強化や定着促進が引き続き課題である。一方、近年注力してきた医師の採用は順調に推移しており、幹部職員の世代交代に向けた準備も進みつつある。高田病院では、17 年に地域包括ケア病床を開設するとともに、全ての医療療養病床が上位基準に移行した。また加治木温泉病院では、今後の地域の医療介護ニーズの変化を踏まえ、一部病床の介護医療院への転換を検討するなど、病床再編に向けた対応が着実に進んでいる。在宅サービス事業では人材の適正配置と稼働向上に取り組んでいるが、収支状況は依然厳しい。
- (4) 高田病院の機能強化に伴う入院単価の上昇や加治木温泉病院の病床利用率の上昇を背景に、足元の収支はおおむね順調である。ただ、建築費が高騰する中、病院新築時の投資回収上の余裕は医療界全体で低下しており、高田病院の新築移転に向けて、18 年度同時改定に的確に対応し、法人全体のキャッシュフロー創出力の維持、向上を図っていくことが不可欠である。外来機能の強化や病床利用率のさらなる向上などを通じたトップラインの引き上げが課題となる。また、当法人は加治木温泉病院の新築移転も視野に入れており、この計画の進展にも注目している。

（担当）吉田 法男・佐藤 洋介

格付対象

発行体：医療法人玉昌会

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB-	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年10月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：吉田 法男
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「医療機関の信用格付方法」（2010年9月6日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 医療法人玉昌会
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した未監査財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人からの未監査財務諸表の限界等に関するコメント、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル